

日本服薬支援研究会 web 講演会

「内服薬嚥下障害」を考える金曜日 4 回シリーズ

第 4 回 内服薬嚥下障害への取り組み実例

日 時: 2026 年 9 月 18 日(金) 19:00~20:30

主 催: 日本服薬支援研究会、連携: J-HOP

参加申込: <https://fukuyaku-event20260918.peatix.com>

締 切: 定員 100 名になり次第または 8 月 11 日(金)

参 加 費: 日本服薬支援研究会会員・賛助会員 1000 円、
J-HOP 会員 1500 円、非会員 2000 円

(参加申込者のご都合でキャンセルの場合は、参加費の返却はできません)

講 演: ① 口から薬を飲むための簡易懸濁法 19:00~19:45

神奈川歯科大学附属病院

診療助手・薬剤師 白鳥千穂 先生

歯科領域では嚥下障害で内服薬の飲み込みに難渋している患者の他、突如発生する器質的嚥下障害に対し薬剤の服用方法を調整する必要がある。内服の継続のために重要な位置付けである簡易懸濁法の導入、継続した服薬支援のために必要な連携や問題点も含めてお伝えする。

② 内服薬嚥下障害への取り組み実例 19:45~20:30

台東区立台東病院・老人保健施設「千束」

医療技術部長 兼 薬剤室長 鈴木慶介 先生

服薬フォローアップが求められる中、病棟や介護現場、在宅等では今も錠剤の粉碎や脱カプセルが行われ、徐放性製剤などの不適切粉碎が問題となっている。介助者の善意による対応が事故につながることもある。ここでは、薬剤師の製剤学的知識と服薬介助者の情報を共有し、多職種で粉碎不適薬剤の回避（処方の見直し）に取り組んだ事例を紹介する。

研修認定: 日本薬剤師研修センター研修認定 1 単位 (申請中)

日病薬病院薬学認定薬剤師 V-3 1 単位 (申請中)

の何れかを付与

<問合せ先> 日本服薬支援研究会 E-mail: fukuyaku.event@gmail.com